

## 「文武両道」

学業と部活動のどちらもしっかり取り組む「文武両道」を掲げている学校は、全国各地にたくさんあります。これは特別なことではなく、どこの学校でもやらなければいけないことでしょう。ただ、学校によって実状は様々です。たとえば、学習をがんばる人と部活動をがんばる人がそれぞれ存在するというのは、本来の「文武両道」ではなく「文武別道」というものでしょう。また、1, 2年生の時は部活動中心の学校生活、3年で部活動を引退したら勉強に専念するというのも、本来の「文武両道」ではないと思います。

一人ひとりの生徒がみな学習も部活動も頑張る「一人の中の文武両道」がしっかりできて、さらに、毎日の生活サイクルの中にしっかりと学習と部活動が位置づけられている「一日の中の文武両道」ができてこそ、本当の「文武両道」だと思います。

こういう真の意味での「文武両道」を実現している学校、たとえばスポーツで全国大会に出場した選手が、難関大学にも合格するという、高いレベルで学習と部活動を両立させている生徒がいる学校の話を知ると、共通しているのは、次の2点です。まず、「常に学習に軸足を置いている」ということ。どんなに部活動の大事な時期でも、けっして学習はおろそかにしていません。もう一つは「オンオフの切り替えの早さ」です。一日の生活の中で、学習と部活動の切り替えを早くして無駄な時間をつくらないこと、また通学の電車の中の時間などの隙間時間を上手に活用することが大切です。

難関大学に入るための学びは重要ですが、これからの時代を生きていくためには、学力だけではなく人間力とも言える力が必要です。部活動や学校行事に一生懸命取り組む生徒は、限られた時間の中でできることを全力でやりとげる集中力があるので、学力も向上するし、リーダーシップ、計画力、実行力、コミュニケーション能力といった様々な能力や資質が身に付きます。

毎日取り組んでいる学習と部活動の両立が高校生活を実りあるものにする鍵であり、それができれば自分の進路希望の実現や社会人としての自立につながることでしょう。